

地這いメロン新品種 「秋田あんめグリーン」

秋田県農業試験場

1 この品種を開発した目的

食味に影響する土壌病害「メロンえそ斑点病」の抵抗性を導入し、ネットが盛り上がり、日持ちの良い地這い品種を育成しました。

2 品種の特性・用途・セールスポイント

- ①「メロンえそ斑点病」の激発圃場でも茎葉や果実に症状が発生しません。うどんこ病に強く、つる割病にも抵抗性があります。
- ②草勢が強く、収穫期のしおれが少なく、高温期の栽培に適しています。
- ③成熟日数は、開花後53～55日程度で、裂果、発酵および肉崩れが少ないため、収穫適期幅が広く、他の地這いメロンと比べて1週間程度長く日持ちします。
- ④果肉は白黄緑色で、糖度は16度前後、上品であっさりとした食味で、ネットが高く盛り上がり、高級感があります。



3 育成経過

ネット系メロンの親系統に「メロンえそ斑点病」に抵抗性を持つ品種を交配して育成した、地這い栽培向けネット系F1品種です。

★この品種に関する問い合わせ先★

秋田県農業試験場 電話 018-881-3312